

令和 8 年度 事業経営計画

令和 8 年度の日本経済は、内需を中心に緩やかな回復基調が継続し、プラス成長を維持する見通しとされ、人手不足を背景とした賃上げの継続とインフレ圧力の鈍化により実質賃金の改善による個人消費の回復が続く見通しとされており、企業の設備投資も増加の動きが継続すると見込まれている。他方で中東情勢の緊迫化の影響は内需と外需の双方におよび景気を下押しするとみられ、日中関係の悪化もインバウンド消費の重しとなる懸念があるとされている。

また、今後の鉄鋼需給は、製造業では自動車部門の鋼材需要は前年度割れと見通されるが、機械部門の鋼材需要は微増が見込まれ、建設業では土木部門は公共事業予算措置の増加が見込まれ微増の見通しとされ、建築部門の鋼材需要は人手不足や建設コスト高騰等により前年度割れで推移し微減が見込まれるなど、粗鋼生産は前年度並みの見通しとされている。

こうした状況の下で令和 8 年度は、「事業継続性を踏まえた施設・設備の良好な保全」、「安全かつ丁寧な作業の更なる深化」、「健全な経営基盤の確保」を重点とした予算を編成し、人材の確保と効率的活用を推し進めるとともに販路拡大を目指し、**それぞれの事業部門において下記のとおり事業経営計画の達成に向けて邁進するものとする。**

記

1 倉庫事業部門

- (1) 鋼材物流事業のプロフェッショナルとしての自覚と責任を持ち、常に安全かつ丁寧な作業を意識し品質管理に万全を期すことで、完全無災害を達成する。
- (2) 能動的営業活動の推進や作業効率向上施策（揚荷能力及び回転率の向上並びに効率的な置場計画）を展開し、**取扱数量 432,000t (36,000t/月)、売上高 13 億 8,820 万円**を目指す。
- (3) 構内施設及び設備の良好な保全、将来を見据えた更新計画により事業継続性を確保しつつ、広範な収益確保に向けた取り組みを実施する。

2 加工請負等附帯事業部門

- (1) 加工請負事業
長い水際線と広い背後空間を有し、かつ、加工工場が構内に立地する当社の特徴を生かした長尺品の加工及びこれまでの受注実績を糧として幅広い業種への営業活動に努め、**売上高 3 億 1000 万円**を目指す。
- (2) 施設利用事業
資産、施設の効率的活用と共にリサイクル関連事業の維持、拡充に努め、**売上高 1 億 6,110 万円**を目指す。